

# 研修レポート

東かがわ市議会議員 山口 大輔

研修場所：東かがわ市交流プラザ

受講日：2016年2月9日（火）

テーマ：「みんなにやさしい避難所とは」

講師：石井布紀子氏（NPO 法人さくらネット代表理事）

## 1. 研修内容

自ら阪神淡路大震災の被害にあったことをきっかけに災害復興支援にかかわるようになった石井氏より震災の現状、東日本大震災の様子を拝聴するとともに、起こりうる災害に備え避難所運営についての学習と体験を行う。

### (1) 減災力

普段から地域活動やサロンなどの福祉活動をしているエリアは、災害が起こっても結束や情報交換などの連帯感が強く、被災時も連携ができています。防災に関する学習も必要だが、普段からの活動が減災につながる。

### (2) 直接死と関連死

阪神大震災時はなかった指標。避難所生活での肉体的、精神的疲労から死亡する確率が非常に高い（東日本大震災では約50%の関連死がこれにあたる）

この他に、障害を持つ家族を抱えた被災者が、周囲に気を使い被災所を離れ、車中泊や我慢を続けることで死亡したという例があるという事も教えられる。

### (3) 赤い羽根共同募金

募金対象はあらかじめ計画されたものだけで、突発的な事象に対して使用することができない。その為阪神淡路大震災は即時利用することができなかった。その反省を込め、現在はその3%が「災害等準備金」として定められており、急な災害時も速やかに対応できるようになっている。

### (4) 東日本大震災

#### 4-1. 釜石の出来事

小学生は短縮授業で、地震発生時、それぞれが市内ばらばらにいた。それぞれが日頃学んでいる教えのもと自分の判断で避難所や高台へ避難した。中には時間を図りながら祖母を迎えに行き避難を呼びかけ共に助かった例もある。

また中学生は全員が率先避難者として一斉に避難。小さい子供を助けながらより高い所への非難を自主的に呼びかけ結果多くの命を救うこととなる。

ただ全員を助けられなかったこと、普段から意識している防災行動をしたことという思いから、奇跡という表現を使ってほしくないという思っている。(現在は公共の記載事項では奇跡ではなく出来事と表示するようになっている)

#### 4-2. 階上(はしかみ)中学校 卒業式答辞

まだ避難所として多くの方が生活する中、震災後 10 日後に行われた階上中学校卒業式。生徒会長の答辞は多くの方の心を打つとともに、現在も前を向いて生きる力となっている。

(答辞抜粋：[映像一部と答辞本文のまとめサイト](#)・)

「命の重さを知るには大きすぎる代償でした。しかし苦境にあっても天を恨まず運命に耐え助け合って生きていくことがこれからの私たちの使命です(略)後輩の皆さん階上中学校で過ごす「あたりまえ」に思える日々や友達がいかに貴重なものかを考えいとおしんで過ごしてください」

#### (5) 避難所運営

- ・避難所での死亡率を下げるためにすべきことの1つがトイレ掃除。汚物感染を防ぐため、清潔を保つことが重要である。また飛沫感染予防にマスクも効果的である。
- ・避難所では導線の確保が非常に重要になってくる。またプライベート空間を維持するためにも囲いがあることが望ましい。段ボールなども効果的だが、不織布等のスクリーンはより空間を維持でき、運搬が容易にできる。
- ・体育館では窓はあっても網戸がないため空調管理が困難で夏熱く冬寒い。
- ・女性の声が非常に重要。暮らしの現場で身に着けた力が適切な運営に必要である。我慢が美德となりがちなので、運営時声を聴く環境を作ることが望ましい。
- ・食材の食べ残しが一番危険。少し残して置き後から食べることで下痢等の発症が危惧される。
- ・食事の分け方が難しい。仮に人数以上のおにぎりが来た場合行政は公平という名のもとに配布しないことがみられた。必要な人に必要なものが渡るよう運営委員会を組織し、避難所にあった配分を行うことが重要である。(高齢者や小さい順、作業をしてきた人優先、まとめて雑炊にするなどの加工等)

## 2. 研修の感想・考察

実際運営側で支援している人に話を聞くことで、なんとなく理解しているだけの自分に改めて気づかされた。頭では理解しているつもりだが、定期的に体験やブラッシュアップを行わないと薄れていく危険を感じる。また災害時の非難について釜石の出来事のように定期的な学習が必要なことを強く感じた。今回の学習並びに体験を通して、今後の防災活動に役立てるとともに、働きかけをしていきたい。

## 3. 受領資料

- ・案内文書

- ・講演資料（パワーポイント資料）

#### 4. 参考サイト

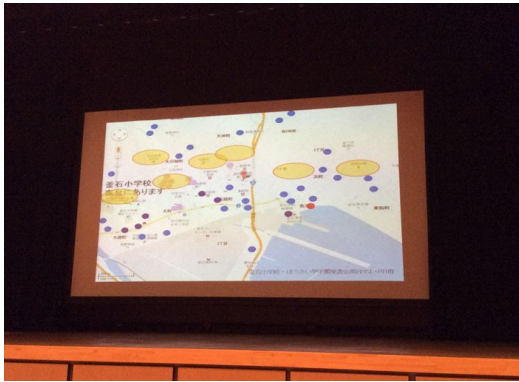
- ・階上中学校 卒業式答辞の映像

<http://grapee.jp/277>

<https://www.youtube.com/watch?v=l19NX4jTyV8>

- ・NPO 法人さくらネット

<http://npo-sakura.net/>



点の場所が地震時に小学生がいた場所だそうです。これだけ点在していたにもかかわらず一人一人が日頃学んでいた防災学習に従って避難したそうです。



段ボールベッドを実際に組み立ててみました。アルミマットが1枚あるだけで全く違います。



おむつとビニール袋を使った防寒着を作りました。



毛布とひもを使っての空間づくり。中央にあるのはトイレとそれを囲ったテントブースです。排泄時外の目を気にしなくていいのはとても重要です。この後汚物管理の錠剤の説明を受けました。